

出向く宮農レポート

豊明 夏真っ盛り！ピーマン・ナス編

夏野菜を長期間収穫するためには、虫や病気の防除が欠かせません。



豊明地域担当
石川 貴章

20cmほどの大きさになるジャンボピーマン「とんがりパワー」を栽培している加藤征夫さんの圃場へ出向きました。

加藤さんからの相談内容

整枝・摘果について相談したい

● 指導・提案内容 ●

- ①ピーマンは第1果がつくと2本に分かれるため、その2本を主軸としてY字になるように整枝をしました。
- ②とんがりパワーは実が大きいので1本に2個を目安に摘果しました。

整枝・
摘果前



整枝・
摘果後



いらぬ枝と実を落として
スッキリしました。

葉の様子が気になる株を見てほしい

様子がおかしいと言っていた株を確認すると葉の表面に黄色や褐色のモザイク模様が出ており、モザイク病が発生していました。モザイク病は、葉が縮れて株全体の生育が抑えられ収量も減少してしまうウイルスによる病気で治療が出来ません。

● 指導・提案内容 ●

- ①モザイク病のウイルスはアブラムシを媒介に感染していくので、今後の感染を防ぐためにアクタラ顆粒水溶剤を散布しアブラムシの防除を提案しました。
- ②土壌感染の恐れがあるので他の株に感染しないよう早めに抜き破棄するように伝えました。
- ③感染植物の汁からも移るので、感染植物を触ったハサミや手で別の株を作業しないように伝えました。

- ピーマンのアブラムシ防除 ● アクタラ顆粒水溶剤 3000倍：収穫前日まで3回



ナスを60本、4本仕立てで栽培している石川博正さんの圃場へ出向きました。

● 指導・提案内容 ●

- ①7月から地元の保育園給食へ出荷を依頼しているため圃場を確認しながら出荷時期などの調整をしました。
- ②今年はハダニの発生が多くなっているため出荷が始まってからも使用しやすい農薬を提案しました。

● ナスのハダニ防除 ●

コロマイト乳剤(殺ダニでおススメです)
1500倍：収穫前日まで2回

石川さんの一言

小まめな切戻しで、10月いっぱいまで収穫できます。長く収穫するためには、樹をしっかりと育てること。成長度合は毎年違うので、様子を見て追肥[IB化成(緩効性)とNK化成エース(速効性)]や整枝を行っています。ピーク時には1日35kg以上収穫しています。

